

SHINAGAWA

議会報告

～品川区議会公明党～

【品川区議会公明党会派報告】

●発行：品川区議会公明党 幹事長：たけうち忍

●〒140-8715 品川区広町2-1-36 TEL 03 (5742) 6817 FAX 03 (3774) 3366 URL <http://www.shinagawa-gikaikomei.org>

品川区の「今」をお伝えします！

2016年度

no. 3

平成28年

第3・4回 定例会報告

品川区議会公明党は、平成28年の第3回定例会、第4回定例会、決算特別委員会において、以下の質問を行いました。「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」であり続けるために、子どもたちが、そしてひとり一人が明るくいいきと暮らせる街づくりを進めます。



健康・福祉



新生児聴覚検査費用の公費助成

難聴児の早期発見、早期療育のために、全新生児が聴覚検査を受けることが重要であることから、区単独もしくは東京都全体として公費負担する仕組みづくりを求めました。

育児と介護のダブルケアの周知啓発と相談体制の整備

当事者の困っていることに対して相談に乗り、必要な情報やサービスに繋げるダブルケア視点を持った人材の育成や窓口の設置を求めました。

空き家と空き室を活用した住宅困窮者への居住支援

住まいに困っている方たちへの空き家・空き室を活用した居住支援協議会の設置に当たり、どのような仕組みとなるのか区の考えを明らかにするよう求めました。

待機児童対策

育休明けに確実に入所できるよう1歳児の入園枠を拡充すること、また、育休取得が困難で出産を機に退職せざるを得ない保護者の子どもは、保護者の再就職活動ができる仕組みとして、利用調整の加算など、それぞれニーズに対応した対策を提案しました。

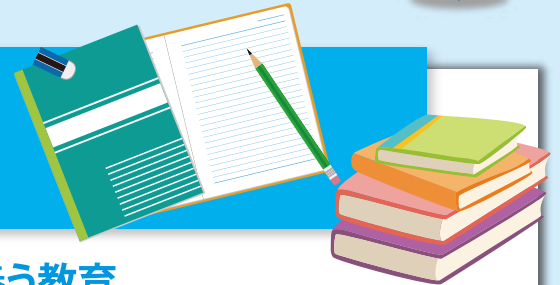
子どものキャリアデザイン

経済的に支援が必要な子どもに対し、学習支援や食事の提供などとセットで就労体験や進路選択など、高等教育、そして就労につながるキャリアデザインの取り組みを求めました。

高校入学準備金の負担軽減

国や東京都によって高校、大学の教育費の負担軽減が検討されている中、高校などの進学を控えた子どもがいる家庭の入学準備の負担を軽減する施策を区に求めました。

教育



創造性を養う教育

子どもが、将来、ロボットやコンピュータと共生していく力を育むために、さらに創造性やコミュニケーション能力を養う教育の推進を求めました。

品川区の教育の見通し

学校選択制について再評価し、地域コミュニティにとってのマイナス面を含めて、改めて理解と共感、そして納得を求めることが大切であると指摘し、区の見解を求めました。

障がい児・者支援



地域に隔たりなく障がい者就労施設を整備

就労継続支援B型の施設は、利用者がより近いところで通えることが理想的なので荏原地域も含めた区内全域に整備することを求めました。

障がい者の芸術活動を応援

障がい者への理解促進のために、「障害者週間・記念のつどい」においても東京2020オリンピック・パラリンピックを視野に入れた障がい者ダンスなどを取り入れるよう提案しました。

防災



「街かど消火栓」の配備

初期消火体制の強化のためにも、簡単に一人でも扱える簡易水道消火装置「街かど消火栓」の配備を提案しました。

生活道路の無電柱化整備計画

都による区道の無電柱化への支援拡充が期待されるなか、区として生活道路を含めた無電柱化を推進するための総合的な計画の策定を提案しました。

にぎわい・活性化



補助26号線へのバス路線導入

26号線の開通を契機にオリンピックのホッケー会場となる大井ふ頭中央海浜公園や臨海斎場への路線バス拡充を求めました。

勝島運河に人道橋設置

勝島地区から八潮学園や浜川中学、浜川鮫浜小学校へと通学する小学生・中学生の通学路、また、しながわ花街道の回遊性向上のため勝島運河への人道橋設置を提案しました。

